

# 職場の5Sについて

医療法人社団 井上医院

# 5Sとは何か

職場環境改善の際に用いられるスローガンで、各職場において徹底されるべき事項

## ■ 5つのS

### ● 整理

必要な物と不要な物を区別し、不要な物を処分すること。職場には必要な物以外は、一切置かない。

### ● 整頓

必要な物が誰にでも、すぐに取り出せる状態にしておくこと。探すムダを省く。

### ● 清掃

ゴミなし、ヨゴレなしの状態にすること。職場も設備もピカピカに磨き上げる。

### ● 清潔

整理・整頓・清掃を徹底すること。この3つを実行することにより、清潔な職場環境を保つことができる。

### ● しつけ

決められたことを、決められたとおり正しく実行できるように習慣づけること。

# 5Sの効果

## ①仕事の効率UP

場当たりの的に置いた要らないモノは、社員を動きにくくし、仕事の効率を悪くし、ひいては売上低下を招きかねません。5Sの徹底により能率的な同線を作り出すことができます。

## ②在庫回転率のUP

要るモノ、要らないモノをハッキリと分け、過剰在庫と過剰な置き場を排除することで、今まで見えなかった問題を表面化させます。

## ③サービスの質のUP

社員が会社にあるものを一目で見つけられ、使えて、戻せるようにすることで、お客様へのサービスも同じ意識でできるようになります。

## ④宣伝効果のUP

「あの会社はいつもキレイだ」というお客様の評判は、人から人へ自然と輪になり、広がっていきます。

## ⑤社員のモチベーションUP

職場をキレイにすると、社員一人ひとりに「キレイな職場を維持しよう」という気持ちが芽生えます。会社のキレイさは、社員一人ひとりの心のキレイさにつながります。

# 5Sの目的

しつけ

清潔

整理

整頓

清掃

効果1

仕事効率向上  
店舗効率向上

- 欲しいモノがすぐに見つかる
- モノを動かしたりする作業が無くなる
- 余剰在庫は売り場スペースを少なくする

効果2

在庫回転率向上

- 過剰な発注を抑える
- 余剰在庫は売り場スペースを少なくする

効果3

接客・サービスの品質向上

- 商品の状況をすぐ説明できる
- お客様が商品を見つけやすく、取りやすく、買いやすくなる

効果4

宣伝効果向上

- 買いやすい、入りやすいお店は口コミで広がる
- 会社イメージが上がる

効果5

モチベーション向上

- 職場がきれいになると、仕事に対し前向きになれる

# 5 S 活動の進め方①

## <ステップ1> 「整理」で不要な物を選別

職場では、現在行っている仕事とは関係ない、かつ不要な「モノ」を実に多く抱えています。その不要なモノを持っていることで、知らず知らずのうちに、「問題」や「ムダ」を引き起こしています。

「整理」とは、現在の業務、営業に不要なモノを職場から排除する運動です。つまり、「必要なモノを、必要な時に、必要なだけ持つ」という状態を作り上げることをいいます。

### ■ 整理がもたらす効果

- ① 保管棚、キャビネット、ロッカー、書架などが少なくなる。
- ② 職場のスペースが広がる
- ③ 不要品を置かないので在庫が減る
- ④ 棚卸しなど、管理に要する諸経費が減少
- ⑤ 余分な仕掛品がなくなる

# 5 S 活動の進め方②

## <ステップ2> 「整頓」でムダを排除

「整頓」とは、社員の立場、そして最も大切な顧客の立場から「探すムダ」「使いにくいムダ」「戻しにくいムダ」を排除する活動です。職場では「探す」という仕事が大変多いものです。会議で必要な書類を探す、お客様が欲しい商品を探し回るなど、忙しいときに限ってこのような現象がよく現れてきます。整頓が意味する本当の狙いは、「作業の標準化」です。こうした、数ある標準化の中で、「整頓」とはこれら標準化の基礎ともいえる「モノの置き方の標準化」なのです。このように考えると、あらゆる標準化の原点であるモノの整頓は、モノを「誰でも分かる、見つけられる」「誰でも直ぐに使える、取り出せる」かつ「誰でも直ぐに戻せる」仕組みづくりだといえます。

### ■整頓がもたらす効果

- ①労働災害を防ぐことができる
- ②すぐ「モノ」が取り出せ、元に戻すことができ、探す時間が減る
- ③運搬に要する時間が減る
- ④紛失による買い足しがなくなる(ムダなコストを削減)
- ⑤工程の停止や、計画変更が減る

# 5 S 活動の進め方③

## <ステップ3> 「清掃」で異常・故障の予防

「清掃」は、顧客に与える印象はもとより、作業の効率や安全面、衛生面などで非常に重要な役割をもっています。

清掃を徹底することで、衛生面や管理状態の異常、機器や什器、設備の故障を未然に防ぐことができます。

### ■清掃がもたらす効果

- 日常清掃 ⇒ キレイにする清掃を行う
- 清掃点検 ⇒ 感知する清掃を行う
- 清掃保全 ⇒ 改革・改善する清掃を行う

# 5S活動の進め方④

## <ステップ4> 「清潔」で3Sを維持

「清潔」という言葉はある行為を表現しているのではなく、ある一時点の状態を指しています。清潔とは「整理、整頓、清掃の3Sを維持すること」と定義できます。





# 5 S 活動の進め方⑤

## <ステップ5> 「しつけ」でルールの徹底

「しつける」とは「叱る」ことです。

叱ることなくしてしつけることはできません。5 Sの最後のSである「しつけ」を核にして5 Sは展開されます。

しつけのない会社の責任は、そのほとんどが経営者や幹部にあります。決め事がはっきりとされておらず、社員が何をもとに作業をしたらよいのか分からなければ、5 S活動が成功するはずがありません。

まず、職場のルールを決め、そのルールに反していることを社員が行った際に初めて、「叱る」という行為が行われるのです。

### ■ 「叱る」ポイント

- ①情を持って叱る
- ②その場で叱る
- ③責任者を叱る